

“恐竜博士”国立科学博物館 副館長・真鍋真氏総監修 <成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー> 来場者 1万人達成！

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：宮島 和美）の敷地内にある「成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー」（以下、恐竜・化石ギャラリー）の来場者数が、7月22日（月）に1万人を達成いたしました。来場者1万人達成を記念して、7月23日（火）にお越しいただいた皆様に、オリジナルデザインの記念シールを配布いたします。



◀ 来場者 1万人突破記念シール

2020年11月2日（月）に開館した「恐竜・化石ギャラリー」は、“化石”をきっかけに、子供たちに「もっと知りたい」という“知”の探究心を育ててもらいたいという想いから、成城大学卒業生のコレクターから寄贈・提供いただいた化石を、約150点展示しています。また、「恐竜・化石ギャラリー」は“恐竜博士”としても知られる、国立科学博物館 副館長・真鍋真氏に総監修していただいています。

約9割に及ぶ本物の化石を間近に見学する事ができる貴重な機会として、2022年から始めた夏休み・無料一般公開では、毎年多くの方々に来場いただき、今年で3回目の開催となりました。今年は、国語の教科書を通して親しまれている『とりになったきょうりゅうのはなし』の著者・大島英太郎氏による新刊絵本『恐竜のあたまの中をのぞいたら』の原画特別展示やサイン会、真鍋真氏が監修された新刊『きょうりゅうのわかっていること・わかっていること』／『きょうりゅうレントゲンびょういん』の発売を記念したサイン会を開催し、多くの方々に参加いただきました。



左) 大島英太郎氏サイン会（7月21日開催）
 右) 真鍋真氏サイン会（7月22日開催）

■ 授業での活用

「恐竜・化石ギャラリー」は、成城学園生が理科の授業等で活用しています。夏休みの一般公開、学校説明会、文化祭での公開のほか、近隣の小学校、中学校をはじめとした教育機関の方々にご利用いただいています。今後も恐竜・化石ギャラリーは、子供たちに「もっと知りたい」という“知”の探究心を育む場となるよう努めて参ります。

■ 今年6月にリニューアル！新たに全身複製骨格化石「ヴェロキラプトル」など10種類以上の化石が仲間入り

今年6月には、開館以来初となるリニューアルをし、新たに全身複製骨格化石「ヴェロキラプトル」や、マンモスの下顎、スピノサウルス 尾椎（18番）、ワニ化石、アンキロサウルス（スパイク）など10種類以上が加わり、約150点の化石を展示しています。



■ 「成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー」

恐竜・化石ギャラリーは、2020年11月に学園内の旧校舎を改装し、開設・開館した小さなギャラリーです。成城大学卒業生のコレクターから寄贈・提供いただいた化石を中心に、古生代・中生代・新生代の海洋生物と陸上生物の化石など約150点を展示しています。

